

なじみ水路にはいろいろな生き物が生息しています

アクアピア安曇野の下水道処理水を犀川に放流するにあたり、なじみ放流を行っています。なじみ放流とは、処理水を犀川に放流する前に周辺環境との調和を図るもので「なじみ水路」とよばれています。犀川の水質は、平成9年度から下水処理される範囲が広がると共に改善方向に経過しています。

位置図



なじみ水路の概要

延長が約600メートル、上流部はマレットゴルフ場の下に埋められた有効管約300メートル、下流は素堀の水路により植生による浄化を行っています。多様な生物が育つ環境に配慮した水路形状になるような様々な自然河川に類似した形態を造成しており多くの生物が観察されています。



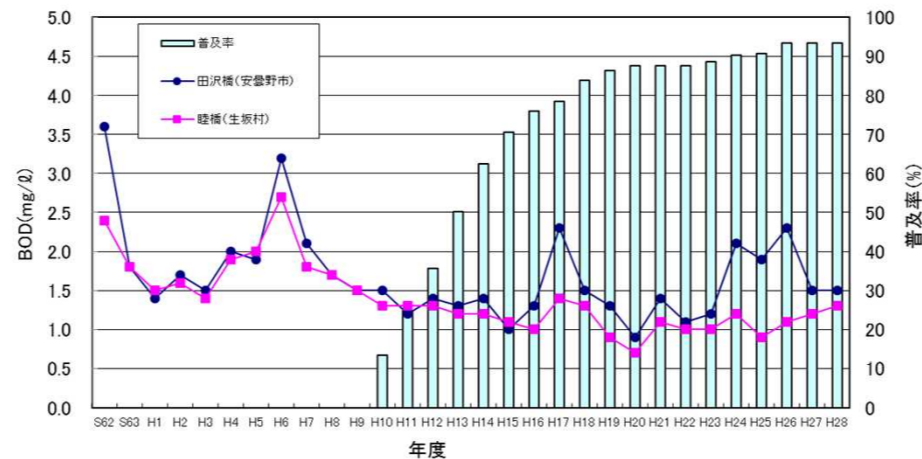
放流渠（放流施設）
光橋のすぐ下流に設置されています



なじみ水路にはよく野鳥が訪れます



なじみ水路の有孔管区間の上はマレットゴルフ場
下水道の普及率と犀川の水



下水道が整備されるに従い、犀川の水質は改善方向にむかっています。



なじみ水路の犀川合流地点



犀川河川敷の中をゆったり流れています

犀川にいる生物たち



ウグイ 日本全国に分布する。地域により呼び名が異なり、「ハヤ」、「オイカワ」、「アカウオ」等と呼ばれ水生昆虫、水井落ちた昆虫、川底のコケなど何でも食べる典型的な雑食性



フナ 河川、湖沼、ため池、用水路など、水の流れのゆるい淡水域ならたいの所に生息する。外見がコイと似るが口元にひげがない。梅雨時に小川を

なじみ水路に生息するトンボたち
なじみ水路には約30種類のトンボが確認されています。



オニヤンマのヤゴ



トンボの王様オニヤンマ

冬にはコハクチョウが飛来します

冬になると遠く4000キロ離れたシベリアから沢山のコハクチョウが安曇野にやってきます。日本海側に雪が多かった平成23年は1000羽を超えるコハクチョウがやってきました。



アクアピア安曇野前にやってきた白鳥



犀川で羽を休めるコハクチョウ